機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0160142	1.7.3.	1	ｅＬＴＡＸからの情報の取込	ｅＬＴＡＸからの利用届出情報の連携ファイルを取り込み、税務システム上の納税義務者情報又は法人基本情報における氏名（法人名）・住所などとの突合を実施し、候補となる納税義務者を出力できること。候補として出力した納税義務者に対し、紐づけ処理を実施することで、納税義務者に納税者ＩＤを登録できること。 候補となる納税義務者が存在しないなど、業務上、調査・確認が必要なデータ項目がある場合、エラー及びアラートとして通知できること。なお、エラー及びアラートとなった場合でも、検索などにより納税義務者を特定することで、紐づけ処理が実行できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0160143	1.7.3.	2		ｅＬＴＡＸからの連携方式について、各地方団体のセキュリティポリシー等に応じて以下の２方式から選択できること。 ・外部電子媒体を経由しての電子ファイル一括取込ができる ・外部電子媒体を経由することなく（システムに直接）自動で連携できる	実装必須機能	令和８年４月１日
0160136	1.7.3.	3		ｅＬＴＡＸから納税管理人申告（申請）書の情報を取り込み、住民、住民登録外者、法人の代理人等情報として登録、更新できること。	標準オプション機能	
0160087	1.7.4.	1	ｅＬＴＡＸからの情報との紐づけ	ｅＬＴＡＸからの情報取込において、税務システム内であらかじめ登録したｅＬＴＡＸ納税者ＩＤ、法人番号又は個人番号を用い、ｅＬＴＡＸからの情報と税務システム内の情報の紐づけができること。 ただし、宛名管理等の外部データベースと連携し、税務システムでは情報を保持せず、照会する形式での実装も可とする。	実装必須機能	令和８年４月１日
0160088	1.7.4.	2		ｅＬＴＡＸからの情報取込において、税務システム内であらかじめ登録した氏名・住所を用い、ｅＬＴＡＸからの情報と税務システム内の情報について紐付けされること。また、紐づけについて複数の候補がある場合は、該当情報を通知し、システム画面にてどの情報と紐づけするか選択できること。	標準オプション機能	
0160089	1.7.5.		ｅＬＴＡＸへの情報送信	ｅＬＴＡＸへの送信データについては、ｅＬＴＡＸの取込仕様に合わせ、1,000件を超える場合は1,000件ごとのファイルに分割する機能を持つこと。	実装必須機能	令和８年４月１日
0160137	1.7.6	1	ｅＬＴＡＸを通じての照会・回答	ｅＬＴＡＸを通じて照会先団体宛ての照会データを登録できること。	標準オプション機能	
0160138	1.7.6	2		ｅＬＴＡＸを通じて照会データをダウンロードできること。	標準オプション機能	
0160139	1.7.6	3		ｅＬＴＡＸを通じて照会元団体宛ての回答データを登録できること。	標準オプション機能	
0160140	1.7.6	4		ｅＬＴＡＸを通じて回答データをダウンロードできること。	標準オプション機能	
0160132	1.7.7.	1	個人番号カードによる各種証明書の交付	証明発行サーバや自治体基盤クラウドシステム等を通じて、広域交付システムインタフェース仕様書に基づくコンビニエンスストア等の端末における下記証明書交付に対応していること。 公的個人認証サービスを用いた各種証明書の電子申請に対応していること。 ＜対象証明書＞ ・所得証明書 ・（非）課税証明書	実装必須機能	令和８年４月１日 又は令和９年４月１日
0160133	1.7.7.	2		証明発行サーバや自治体基盤クラウドシステム等を通じて、広域交付システムインタフェース仕様書に基づくコンビニエンスストア等の端末における下記証明書交付に対応していること。 公的個人認証サービスを用いた各種証明書の電子申請に対応していること。 ・その他証明書	実装必須機能（※）	
	1.8. 共通管理					